

◆経済倶楽部講演会第4212回（7月14日）

# 綻びだした安倍長期政権と 今後の政治展望

ノンフィクション作家、評論家

塩田

た

うしお

- \*内閣支持率に黄信号
- \*実質権力は昔・二階に
- \*脇が甘くなつた官邸主導
- \*一強体制が生んだ気の緩み
- \*なぜ改憲に拘るのか
- \*同床異夢の改憲勢力
- \*自民党も一枚岩ではない
- \*緊急事態条項には実現可能性
- \*小池都知事の野望
- \*残る年内解散の可能性



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）

今日は都議選後、政局の流動化があるのかなというところもちらつと考えまして塩田さんをお願いをしておきました。まさにそのようになりまして、皆様もこれからどうなるかご興味がおありかと思えます。あまり永田町に深く関わっている、かえって物が見えなくなることもあります。その点、塩田さんなら、客観的に情勢を把握するという意味で適任ではないかと思えます。それでは塩田さん、よろしくお願ひします。（拍手）

塩田 潮

**塩田** 塩田潮でございます。前は去年5月6日にお招きいただきました。去年の5月6日と言うとこれから参議院選があるというときに、参議院選挙の展望、あるいは参議院選後、安倍

政権がどうなるか、を話させていただいたと思います。当時は、もりそばも、かけそばもまだありませんで（笑）、順調に安倍政権が推移しているところでした。けれども、去年暮れから今年の前半にかけてまして、もりかけ疑惑で大ピンチというところがあります。

## 内閣支持率に黄信号

7月10日には、閉会中、前川前文部事務次官の参考人招致が行われて、安倍さんは我聞せずという態度をとりたかったようですけれども、一転して今度は国会に出席すると応諾したわけです。いろいろ疑惑があるからしゃべらなくてはいけないという責任感よりも、ここで逃げまくっているとますます窮地に陥って支持率が下